

「腎癌に対する鏡視下根治的腎摘除術における 抗血小板薬の影響に関する検討」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2022年11月9日から2023年3月31日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

近年高齢化にともない血管系の疾患の治療・予防に抗血小板薬を内服される患者さんが増加しています。しかし、出血を伴う手術を行う際の明確な中止基準などは定められていないのが現状です。腎癌に対して行う、鏡視下根治的腎摘除術は開腹手術に比べ低侵襲で制癌性も保たれる術式です。これまでこの術式における抗血小板薬の取り扱いに関する報告はごくわずかしかありません。今回、我々は鏡視下根治的腎摘除術における抗血小板薬の影響に関して検討を行う予定です。この結果によっては、不必要な術前休薬による血栓症発症のリスク軽減が可能となるほか、反対に適切な中止による周術期における出血性合併症の軽減が可能になると考えられます。

【研究の対象】

小倉記念病院において2013年4月1日から2022年3月31日の間に、鏡視下根治的腎摘除術を施行した腎癌の患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、身長、体重、既往歴、手術時間、出血量、入院期間、術後合併症などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、小倉記念病院病院長の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 泌尿器科 担当者 中山 祐起
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）